

中国語の単文における時間表現

孫 偉

要 約

中国語の時間表現に関しては、テンス体系の有無、「テンスが動態助詞によって表される」と「テンスが時間を表す名詞や副詞によって表される」という理論の対立、などの問題が存在している。テンスの研究においては、動態助詞だけを取り上げた分析、または意味上の時間を表す名詞や副詞に注目した考察、あるいは単文と複文を同時に列挙してテンスを表すものがなにかを解明しようとする研究が多く見られる。このような部分的な表現を考察対象にして得られた結果は、テンスの（部分的な）存在を証明することにとどまり、その全体を把握するまでには至っていない。そのため、中国語テンス体系の実像がまだ明らかになっていないのが現状である。

小稿は単文に存在している動態助詞、時間名詞と時間副詞を、それぞれ個別および組み合わせのかたちで、可能なかぎりこの三者の文中にある関係とそれぞれの表しているものを実例を通して検討し、中国語の単文における時間の問題を考察した。同時に、時間関係を明確に理解するため、図形表示法を導入した。この考察を通じて、中国語の単文において、動態助詞「了」と「过」は過去のテンスを、「着」は（進行または継続中にある）現在のテンスを、「0 動態助詞」は一般現在または未来のテンスを表すということが確認できた。さらに、図形表示によって分析した結果、動態助詞によるテンス表現方法（語法表現法）と時間名詞・時間副詞による表現方法（語彙表現法）は対立関係にあらず、両者は語法表現法を基本とし、語彙表現法が語法表現法を補完する関係にあるという結論を得た。すなわち、中国語単文のテンス体系は基本的には語法表現によって表されるが、必要に応じて動態助詞を省略し、語彙表現だけで表される場合もあるということである。

キーワード：テンス 動態助詞 0 動態助詞 時間名詞と時間副詞 図形表示法

1 はじめに

中国語には、このような文がある。

(1) 比赛结束了。[過去]

試合が終わった。

(2) 院长迷惘地看着她。[現在]

院長は困惑して彼女を見ている。

(3) 他去北京。[未来]

彼は北京に行く。

日本語では、動詞が語形の変化（タ形、ル形など）を通じてテンスとアスペクトを表すことができる。それに対して、中国語の動詞は語形の変化こそ持たないが、過去の出来事は「動詞+了」で、現在の出来事は「動詞+着」で表すことができる。すなわち、動詞の後ろに「了」、「着」、あるいは「过」などといった動態助詞が付くことによって、部分的でありながら同様な役割を果たしている。また、

(4) 他正在睡觉。[現在進行中]

彼は寝ている。

(5) 我明天出门。[未来]

私は明日出かける。

のような、進行中の現在を表すのに、日本語では動詞のテイル形が用いられるのに対して、中国語では(4)のような副詞「正在」だけが用いられる方法や、(5)のような名詞「明日」だけが用いられる方法も見られる。すなわち、副詞、あるいは名詞だけで出来事の生起時間を表すことができると考えられる。

以上(1)と(2)と(3)のように動態助詞がテンスを表す場合と、(4)と(5)のように時間副詞（時間を表す副詞）と時間名詞（時間を表す名詞）がテンスを表す場合があるという中国語の時間表現における対立が見られる。

ここでは、日本語のテンス・アスペクト図形表示法を参考に、中国語単文をめぐる動態助詞「了、着、过」および時間を表す名詞と副詞などの時間表現の機能を検討することによって、中国語単文におけるテンス体系を明らかにしたい。

2 先行研究および問題点

2.1 先行研究

張秀（1957）は、現在時・過去時・未来時によって構成される時制（テンス）体系が絶対時制であると認めていると同時に、関係時制が「不定時・完了時（決定時）・進行時・完了進行時（決定進行時）」によって構成されると述べている。この研究では、中国語の動態助詞「了、着」など、アスペクトとテンスの結合関係などの視点から分析が進められており、「着」が表している文法範疇は「持続相」であって「進行時」ではない、「了」が表すのは「テンス」ではなく「アスペクト」の範疇、すなわち「完了相」である、と動態助詞について論じている。

龔千炎（1995）は、中国語の動詞は形態変化を有しないし、テンスを表す用語が少しも「虚化」（虚詞化、文法化）していない（つまり語法成分になっていない）から、現代中国語では「時」（tense）の語法範疇が形成されていない、と述べている。また、現代中国語の時制表示については、一般的に語彙手段、つまり時間詞を利用していると述べている。中国語のテンス体系構成については、「過去・現在・将来」と「先事・当事・後事」の組合わせによって得られた9通りにまとめている。すなわち、現代中国語の時制体系は、語彙手段を用いて表示され、発話時間と出来事の発生時間、ほかのある参照時間と出来事の発生時間によって縦横に入り交じって構成されている（龔千炎1995、p.34）と考えている。

上述のような中国語無時制論（体系化されていない）に対して、C. E.ヤーホントフ（1957）は、中国語におけるテンスの範疇は、アスペクトのニュアンスが追加されることによって複雑になっており、単なるテンスとしてではなく、むしろ混淆したアスペクト的テンスの意味を有する範疇となっていると論じている。テンスの表現法については、「過去完了テンスは過去完了の指標 接尾辞（動態助詞）の「了」、不定過去テンスは接尾辞「过」、現在進行形テンスは接尾辞の「着」によって作られる。現在・未来テンスは特別なアスペクト的テンスの指標をまったく持たない一般アスペクト動詞と結果動詞の表すテンスである」と説明している。

李鉄根（1999）は、中国語の動態助詞「了、过」は「過去、前時」を表し、「着」は「現在、同時」を表せることを多くの例文分析を通じて証明している。李鉄根（1999）では、「了、着、过」は絶対テンスと相対テンスの両方を表す機能およびアスペクトを表す機能を同時に持っていると考えている。

これ以外にも、呂叔湘（1982）、李臨定（1990）、範曉・張豫峰等（2003）などのテンスにかかわる先行研究があるが、ここではとりあげないことにする。

2.2 問題点

単文におけるテンスの存在は認められている。過去および現在のテンスは語法手段で表せると考えられているのに対して、未来のテンスは語法手段（動態助詞を用いてテンスを表す）によるものか語彙手段によるものかについて、意見が分かれていて、いまだに明らかになっていない。

動態助詞が用いられていない場合、時間を表す名詞・副詞などの時間要素を検討してテンスを解明しようとする傾向が見られる。動態助詞が用いられていない理由を突き止めた研究は現段階においてはまだ見られていない。

動態助詞、時間名詞、時間副詞などの時間を表す要素をそれぞれ分析したうえで、それらが単独で用いられる場合、または組み合わせて用いられる場合に、なぜそのように用いられているのかについての理由および用いられる各要素の役割を検討する必要がある。

語彙手段、語法手段、および文脈を総合的に考えたうえでの、中国語テンスの深層構造に関する研究は依然として少ない。

無論、基礎的なテンスを表せる語彙を綿密に分析する研究法は極めて大切である。しかし、「樹を見て森を見ず」というような欠点が存在していることも否定できない。中国語は日本語のような動詞の語形変化を持つことがなく、またテンス体系の分析に際して語彙手段と語法手段を同時に考えざるをえないという特徴があるので、その体系を明らかにするには、これまで踏襲されてきた研究法はすでに限界に近い。

3 動態助詞がテンスを表す場合

3.1 単文の概念

中国語の単文において直接成分の間に存在する関係は、「主語 述語」「述語 目的語」「修飾語 中心的な被修飾語」...などのような関係でなければならない(高更生2001)。すなわち、単文は一つの主語(主語句)と一つの述語(述語句)によって構成された文である(呂冀平2000)。しかしながら、中国語の単文には、以下のように2種類に大別できる様々な異なった形式のものがある。

単純単文：

他喜欢读书。

彼は読書が好きだ。

複雑単文：

我认为不消除这种野蛮和不文明的现象、不消除这种对待科学和有文化的人的野蛮态度、我们就一步也不能前进。(高更生2001、p.185)

私は、この種の野蛮さと非文明的現象を取り除かなければ、また科学および知識人に対するこのような野蛮な態度を取り除かなければ、我々は一步も前進できない、と考えている。

一般的に、の例においては「他」が主語、「喜欢」が述語、「喜欢读书」が述語句であると考えられている。それに対して、の例においては、「我」が主語、「认为」が述語、「认为」およびそれ以後の部分が述語句を構成していると考えられている。

本論文では、できるかぎり単純単文のみを扱うことにしている。(複雑単文は定義こそ単文ではあるが、複文的要素も備えていると考えられるので、今回の考察対象からは外すことにする。)

3.2 動態助詞「了」(le)

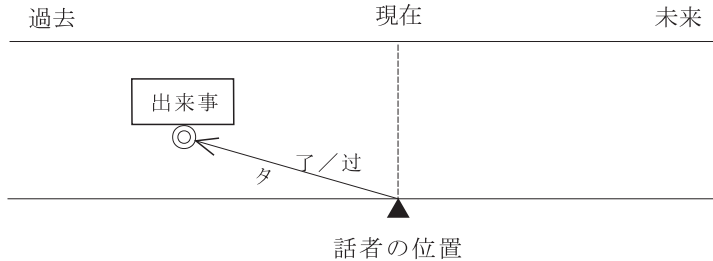
動態助詞「了」が動詞の後ろに現れているときに、明確な時間を示す時間名詞がない場合は、動作が「発話時に完了した」「完了している」と考えられる。すなわち、「了」は直近過去を含む過去のテンスを表すことができる。以下では、実際の例を見

ながら「了」について考えたい。

(6) 振徳笑了。(冯徳英・迎春花)

振徳は笑った。

図1 - 過去 (今泉2000、図16 - 13および図17 - 1を参照作成)



あらゆる出来事は時間の流れの中で生起(あるいは進行、終了)する。図1では、時間の流れを川の流れたとえ、話者が川岸のある位置に立っている。話者の立っている位置を現在(中心部の点線)にすれば、その右側が未来の範疇になり、左側は過去の範疇になる。この図では、想定された出来事が舟のように川の流れ(時間の流れ)に乗って未来(右側)から過去(左側)に流れて行くことが示されている。一つの出来事(で表示される)は時間と関係しながら未来から現在を経て過去に動いていく。(それぞれの出来事はアスペクトを帯びているが、ここでは考えないことにする。以下同様。)話者の位置(で表示される)とを結ぶ矢印は言及線という。は局面としてではなく、出来事を一つの全体としてとらえていることを表している。

また、図1を図2のように簡略化することもできる。話者の位置(現在)をで示し、この黒三角より右の部分を未来の範疇とし、左の部分を過去の範疇とする。からに向かう矢印はテンスを示す。

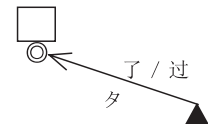


図2 - 過去

出来事が一つしかない場合、話者が「現在」という時間の位置に立って、出来事の発生時間を考えることになる。無論、出来事の時間を分析するとき、テンスの問題だけでなく、アスペクトの問題も伴っているが、ここでは考えないことにする。(6)では、語法標記の「了」以外にほかの時間を示す(語彙)標記が存在していないため、出来事の生起時間が過去の範疇に属することは、動態助詞「了」によって表されている。このとき、動作の進行過程あるいは状態の持続過程を持っている出来事であるか否かを問わず、話者が注目しているのは、出来事が過去に完了したという点である(図1参照)。すなわち、出来事のテンスが過去であることは、動態助詞「了」によって表されている。この過去を表す中国語の「了」には、日本語の「夕」が対応している。

3.4 動態助詞「着」(zhe)

中国語の動態助詞「着」は動詞の後ろに用いられ、動作の進行中あるいは状態の持続中を表す。文中に時間副詞の「正、正在」、文末に「呢」が現れる時もある。

(7)王面无表情地瞅着她。(王慧玲・人間四月天)

王庚が無表情な顔で彼女を見つめている。

(8)事情还是原封不动地搁着。(欧阳山・苦斗)

事柄はあいかわらずもとのまま放置されている。

(9)他深深地爱着这个黑皮肤的姑娘。(路遥・平凡的世界)

彼は深くこの黒い皮膚の女の子を愛している。

(7)~(9)では、「着」はそれぞれ動作の進行中、動作完了後の持続中の状態、持続中の心理状態を表している。それぞれの文に使われている動詞の種類が異なっているが、動詞が表している動作の時間が現在であることは同様に(日本語のテイルに相当する)「着」によって示されている。(現在を言う場合にはアスペクトを離れることができないが、本論文ではテンスのみに着目している。)



図3 - 現在

3.5 動態助詞「过」(guo)

動詞の後ろにつく動態助詞「过」の機能については、呂叔湘(1980)や劉月華(2001)などでは「動詞の後ろに用いられ、かつてこのような出来事があったことや、動作が完了したことを表す」と述べられている。

(10)你爱过谁吗?(朱邦复・巴西狂欢节)

あなたは誰かを愛したことがあるか?

(11)我刚吃过饭。(冯德英・迎春花)

私はご飯を食べたばかりだ。

「过」は、経験(相)を表す場合では、(10)のようによく日本語の「~したことがある」に訳されている。これは「過去の経験」を表すアスペクトの表現であるといわれている。話者が現在の位置に立って過去の出来事を話している(図2参照)ため、出来事が過去の時間に生じたことが明らかである。したがって、経験を表す「过」はアスペクトを表していると同時に過去のテンスも表していると考えられる。(11)に用いられている「过」は、ここでは「了」と互換できるため、経験を表すものではなく、過去完了を表す「过」であると考えられる。また、「过」を削除すると、このような単文は一般現在の文または未来の文あるいは非文になるということから、やはり図2で示されたように、動態助詞「过」は過去のテンスを表していると考えられる。

3.6 まとめ

中国語の「了、过」は、ほかの時間を表す要素が存在しない単文のなかに用いられている場合、図1と図2で示されたように、出来事が過去の時間範疇に属することを

表すことができる。「了」と「过」は、アスペクトを考えないとき、過去を表す点において、日本語のタと共通するところがある。「着」は動詞の種類によって、現在において進行中の動作あるいは持続中の状態を表せることから、「着」のつく出来事が現在の範疇に属していることを表すものと考えられる。

4 無標記の場合

中国語では、動詞の後ろに動態助詞がつかない、すなわちテンスを示す標記がない文がよく見られる。このような文では、一般的に時間を示す名詞あるいは副詞も用いられていないことが多い。

4.1 一般現在

(12) 祖母喜欢这里的粽叶。(苏童・祖母的季节)

祖母はここのちまきの葉が好きだ。

(13) 工人们欢迎客人来参观。(孟琮等・汉语动词用法词典)

工場の労働者たちはお客さんの参観を歓迎する。

(14) 我只关心重新安置了以后、活不下去怎么办。(王小波・未来世界)

私が専ら心配していることは、新たに配置されたあとで生きていけなかったらどうしようかということだ。

(12)では、動作主の習慣と嗜好が述べられており、文は一般現在文となっている。(13)と(14)も、中国語では同じく一般現在の文であるが、出来事は動詞の性質によって動作の出来事と状態(心理的)の出来事に分かれている。そのため、日本語訳では、動詞がル形とテイル形に分かれて用いられている。これらの文に共通しているのは、出来事が過去のある時点から始まり、現在もなお継続中であり、未来に続くかどうかの確認できないことであるが、話者の時間的焦点はあくまでも現在ということである。

4.2 未来

(15) 我跟你到门市上去。(路遥・平凡的世界)

私はあなたと一緒に店に行く。

(16) 你得认识麦子、稻子、玉米、高粱、红薯。(陈村・给儿子)

あなたはムギ、イネ、トウモロコシ、コウリヤン、サツマイモを知らなければならない。

(15)と(16)では、過去のある時点あるいは現在においても生起しておらず、未来に生起する出来事について述べられている。話者の注目するところは未来の出来事であるが、(12)~(14)と同様に原形の動詞が用いられている。

4.1および4.2のように、中国語の原形動詞は日本語のル形動詞と同じように、現在

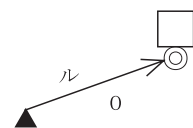


図4 - 未来

あるいは未来の出来事について用いることができる。すなわち、中国語の原形動詞は（進行中の現在を除く）一般現在のテンスと未来のテンスを表せると考えられる。

一般的にいわれる原形動詞とは、動詞の後ろに「了、着、过」などの動態助詞が付いていない形（裸の動詞）すなわち動詞そのもののことをいう。「動詞+了、过、着」に対して、形態的にこれを「動詞+0（ゼロ）」で表すことにすれば、動態助詞を統一的に扱うことができる（孫2005）。そして、動態助詞「了、着、过」に対して、動詞の後ろになにも入らないときの形態を「0（ゼロ）動態助詞」と呼ぶことができる（孫2005）。すなわち、日本語動詞の基本形とル形・テイル形が果たしている機能と同じように、中国語の一般現在と未来のテンスは動態助詞「0」によって表すことができると考えられる。

5 各種の時間を表す要素が用いられる場合

5.1 時間名詞・時間副詞・動態助詞が併用される場合

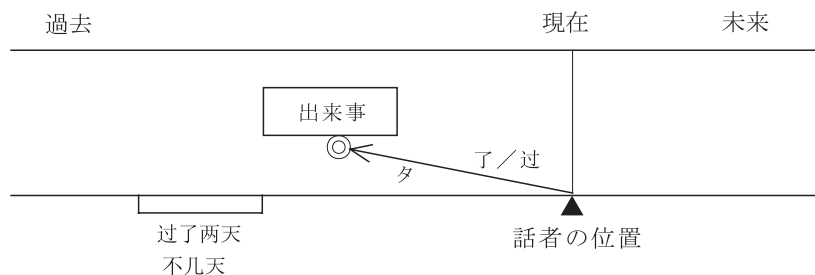
(17) 过了两天、道静已经征服了小少爷宋文台。(杨沫・青春之歌)

二日が過ぎ、道静はすでに坊ちゃんの宋文台を服従させた。

(18) 可不几天就发生了意外的事。(赵树理・李家庄的变迁)

残念ながら、何日も経たないうちに意外なことが起こった。

図5 - 時間を表す要素と動態助詞の関係



以上の過去の出来事を述べる例においては、動態助詞「了」「过」が用いられている。時間名詞には過去を表すものとそうでないものがあり、時間副詞においても同様なことが言える。しかし、これらの時間名詞と時間副詞を除いても、テンスが過去であることを同様にとらえられるため、過去のテンスは時間を表す名詞と副詞ではなく、動態助詞によって表されているとしか考えられない。このとき、時間名詞は出来事の生起時間を明確に限定し（図 - 5 参照）、時間副詞といっしょに動態助詞を補助して、出来事が過去の時間範疇に属することを表す役割を果たしている。

多くの時間副詞が動態助詞と呼応して、いっしょに現れる形で時間を表す現象はよく見られる。

「着」が時間名詞・時間副詞と同時に用いられているときは、出来事の生起時間を確認するには、時間名詞と時間副詞が決定的な役割を果たしていると考えられる。

(19) 从启事贴出后我一直守着服务台上的电话。(苏童·你好养蜂人)

お知らせが貼られてから、私はずっとカウンターにある電話の近くで待っている。

(20) 那时候我正在做着一个梦。(王巨·黑麻雀)

あ のとき、私はちょうど夢を見ていた。

(21) 在订婚以前、她曾经有一个时期渴望着进学校读书。(张爱玲·茉莉香片)

彼女は婚約する前のある時期に、学校に入って勉強することを熱望していた。

「着」が時間名詞・時間副詞と同時に用いられているとき、出来事の生起時間を確認するには、時間名詞と時間副詞が決定的な役割を果たしていると考えられる。(19)では、過去のある時点から現在までの時間名詞「从启事贴出后」と時間副詞「一直」が動態助詞と一緒に用いられ、出来事の発生時間は過去であるが、話者の注目している部分は時間的に現在であることを示している。すなわち、過去から現在までの時間帯にある出来事の現在の様子が注目されることになるため、出来事のテンスは現在であると考えられる。(20)においては、時間副詞「正在」も動態助詞「着」も単独で用いられるときには現在の意味を帯びるが、過去を表す時間名詞「那时候」に制限されているため、出来事のテンスは過去となるのである。(21)では、過去を表す時間名詞と時間副詞が用いられており、「着」が両者の時間性にしがたってアスペクトのみを表すことになり、出来事のテンスは過去となっている。

(22) 不久、这里的一切将要永远地埋葬于深水之下! (路遥·平凡的世界)

まもなく、ここのすべてが永遠に深水の中に葬られようとしている。

(23) 从今往后、我们就要开始在一块生活罗。 (路遥·平凡的世界)

これから、私たちは一緒に生活を始めようとしている。

「0 動態助詞」が用いられている場合、時間が未来の範疇に属することを表す時間名詞・時間副詞が同時に用いられることが多い。これは、中国語における未来/現在を表す時間名詞・時間副詞と過去を表す動態助詞が、また過去を表す時間名詞・時間副詞と未来/現在を表す「0 動態助詞」が相容れない特徴をもつことによって決まるのである。

5.2 時間名詞と動態助詞が併用される場合

(24) 下午来了一位老医生。(梁晓声·尾巴)

午後一人の年寄りの医者がやってきた。

(25) 以前、他在天桥儿卖过草药。(老舍·四世同堂)

以前、彼は天橋で草薬を売ったことがある。

(26) 那段时间、床上躺着一对病人。(张欣·爱又如何)

そのあいだ、ベッドに一組の病人が横たわっていた。

(27) 明天他去黄原。(路遥・平凡的世界)

明日、彼は黄原に行く。

時間名詞と過去を表す動態助詞「了」と「过」が併用される場合((24)、(25))には、時間名詞がより具体的に時間を限定し、出来事のテンスが動態助詞によって表されている。動態助詞「着」が時間名詞と併用される場合((26))、出来事のテンスは、動態助詞ではなく、時間名詞によって表されることになる。「着」はテンスを表すことができるが、時間を表す要素と併用されるとき、多くの場合は時間名詞などの要素がテンスを表す役割を果たし、「着」がアスペクトのみを表す役割を担うことになる。時間名詞が「0 動態助詞」と併用される場合((27))、時間名詞は時間を限定し、「0 動態助詞」はテンスが未来(あるいは一般現在)であることを表す。

5.3 時間副詞と動態助詞が併用される場合

(28) 老警察马上给里面打了个电话。(老鬼・血和铁)

年輩の警官はすぐ中(の人)に電話をかけた。

(29) 沈伟的祖父曾经开过煤店。(张欣・爱又如何)

沈偉の祖父はかつて石炭店を開いたことがあった。

(30) 他们班的集体像已经在学校大门口照过了。(路遥・平凡的世界)

彼らはクラスの写真をすでに学校の入り口で撮った。

(28)では、相対的時間を表す副詞「马上」が用いられているが、過去を表す動態助詞「了」が用いられているため、出来事のテンスは過去に制限されている。このようなことは、一緒に用いられることの多い時間副詞「曾经」と動態助詞「过」が存在している(29)においても考えられる。(30)についても、(29)と同じように考えてもよいが、異なっているのは過去を表す動態助詞「过」と「了」が文末で併用されていることである。このような場合、「过」が動態助詞ではなく、結果補語となっており、テンス(過去)を表していない(劉月華2002、p 404)のである。テンスは動態助詞「了」によって過去として表されている。

(31) 每株树的尖顶总是正对着蓝蓝的天心。(王慧玲・人间四月天)

すべての樹の先端はいつも青い空に向かっている。

(32) 他也将要面临这件人生大事了。(路遥・平凡的世界)

彼もこの人生の一大事に臨もうとしている。

動態助詞「着」が用いられている場合、それと併用される時間副詞は現在の意味を含むものが多い。このようなとき、時間名詞と併用される場合と同じように、時間副詞がテンスを、「着」がアスペクトを表すことになる。(32)のような「0 動態助詞」が用いられている文においては、明確に未来を表す時間副詞とそうでない相対的時間を表す時間副詞が一緒に用いられることがあるが、「0 動態助詞」だけで出来事のテ

ンスが未来であることが決まると考えられる。

5.4 時間名詞と時間副詞が併用される場合

(33) 我二十一时、正在云南插队。(王小波・黄金时代)

21才のとき、私は雲南省で人民公社の生産隊に入っていた。

(34) 以前读书时我天天逃课。(朱邦复・东尼！东尼！)

以前、勉強していたとき、私は毎日サボっていた。

(33)に見るように、時間を表す名詞フレーズ「我二十一时」は、明確に過去の時間を表している。時間が現在であることを表せる時間副詞「正在」も用いられているが、出来事の生起時間がすでに時間名詞によって制限されているため、時間副詞の表す時間的意味は時間名詞の表す意味に従うことになる。したがって、時間名詞が過去テンスを表し、時間副詞はテンスではなく、進行（あるいは持続）中のアスペクトを表すと考えられる。しかし、(34)では、「以前读书时」が時間帯を表す副詞句であるが、これが過去の範疇に属することは句の中の時間名詞「以前」によって決められている。そのため、この文では、過去の時間帯に発生した出来事が描写され、動態助詞が省略されていても出来事のテンスが過去であるととらえることができる。

(35) 在中国历史上、曾经有一场悲壮而屈辱的鸦片战争。(毕淑敏・预约死亡)

中国の歴史に、かつて悲壮かつ屈辱的なアヘン戦争があった。

「在中国历史上」というフレーズから過去の意味が読み取れる。また、過去を表す時間副詞「曾经」も用いられているため、出来事の生起時間は過去である。

(36) 我最近正在搞中枢神经系统以及一些穴位的研究。(陈染・无处告别)

私は最近、中枢神経の体系およびいくつかのツボを研究している。

「最近」ということばには、現在に近い過去のある時点、あるいは近い過去のある時点から現在までという二つの時間を表す性質がある。過去を表す動態助詞「了」や「过」がなく、現在の時間を表す副詞「正在」が用いられているため、出来事は近い過去の時間に生起し、現在でも継続しているものと考えられる。

(37) 今天晚上、妈妈厂里的一个老姐妹沈阿姨将要带个姑娘来给陈信过目。(王安忆・本次列车终点)

今晚、陳信に見てもらうため、同じ会社で働いているママの親しい姉妹である沈おばさんが一人の女の子を連れてくる。

「今天晚上」は、現在点（話者の時間的位置）の違いによって「過去」にも「未来」にもなりうる。すなわち、話者が昼のある時点に立って出来事を考えている場合、「今天晚上」は未来になり、話者が深夜のある時点に立って出来事を考えている場合、「今天晚上」は過去になると考えられる。ここでは、時間名詞以外に、未来を表す時間副詞「将要」も用いられており、動詞の後ろに過去と現在を表す動態助詞も存在していないため、出来事は未来の時間に生起すると断定できる。

以上で考えてきたように、時間を示す時間名詞と時間副詞が併用されている場合、時間名詞が時間が「過去・現在・未来」のどの範疇に属しているかを明確に示しているとき、出来事の生起時間はそれによって決定される。時間副詞は、時間名詞が明確に時間の範疇を示していないときにおいて、補助的に時間を表し、時間が「過去・現在・未来」のいずれであるかを示す役割を担っているものと考えられる。時間名詞は時間副詞に優先して文（出来事）のテンスを決定すると言える。

6 まとめ

中国語の単文が「主語＋述語」あるいは「主語＋述語＋目的語」という基本的な単文である場合には、動態助詞が用いられ、出来事の生起時間はそれによって表すことができる。すなわち、過去を表すのに動態助詞「了、过」が、進行中の現在を表すのに「着」が、一般現在および未来を表すのに「0動態助詞」がそれぞれ文中に用いられるのである。したがって、中国語の動詞そのものは語形変化を有しないが、「過去・現在・未来」を表す動態助詞を用いることによって、日本語動詞の「ル／タ、テイル／テイタ」に対応できていることから、中国語には語法的にテンスの体系が存在していると考えられる。

中国語のテンス体系は、表面上は語法表現法と語彙表現法が存在しており、あたかも両者が別の体系で対立しているかのように見える。しかし、各種の条件のもとに置かれた実例を日本語という外国語と比較しながら、その内的構造を図形モデルを用いて分析すれば、中国語のテンス体系の実像がより鮮明に浮かんでくる。過去を表す時間名詞・時間副詞と動態助詞が併用される場合、時間名詞と時間副詞は省略することができるが、動態助詞を省略することはできない。進行（または継続）中の現在を表すのに、動態助詞「着」を単独で用いることができる。未来を表す時間名詞と時間副詞の力を借りずに、「0動態助詞」でも十分に未来の意味を表せる。このようなことから、動態助詞がテンスを決めるもっとも重要な役割を果たしていると推測できる。言語の特徴の一つである省エネルギーという側面から考えると、時間を表す要素の片方が確認できればもう一方を省略するというはごく自然な現象である。すなわち、動態助詞が存在しているため、具体的な時間を求める必要がなければ、時間名詞あるいは時間副詞を用いる必要がない、あるいは時間名詞と時間副詞が十分に時間を表していれば、動態助詞を省くことができる、という表現方法が中国語に存在している。したがって、中国語のテンス体系は、語法体系を基本とし、語彙体系が語法体系を補完するという両者が入り交じって表現される複雑なテンス体系をなしている。

単文が複雑化するにつれ、文中に様々な要素が加わってくる。出来事を詳細に描写するために加えられる要素は、状態語になる時間名詞と時間副詞、補語になる動詞や形容詞、修飾語になる「名詞＋的」形の句や動詞、形容詞、などが挙げられる。これ

らの状態語や修飾語などは時間を表す詞によって構成されることも十分に考えられる。このような場合、出来事のテンスはどのように表されることになるのか。また、関係動詞（日本語の「である」等に相当する）あるいは形容詞が述語になったとき、動態助詞がつくのかどうか。つくとすれば、テンスを表すのかどうか。これらの問題は今後の研究課題となっている。

<参考文献>

- 今泉喜一 2000 『日本語構造伝達文法』 揺籃社
今泉喜一 2003 『日本語構造伝達文法 発展 A』 揺籃社
工藤真由美 1995 『アスペクト・テンス体系とテキスト』 ひつじ書房
C.E. ヤーホントフ著 橋本萬太郎訳 1987 『中国語学研究叢書 3 中国語動詞の研究』 白帝社（原文のロシア語版は1957年に出版されたものである）
戴耀晶 1997 『現代漢語時体系系統研究』 浙江教育出版社
房玉清 1992 『实用漢語語法』 語文出版社
高名凱 1986 『漢語語法論』 商務印書館
高更生 2001 『漢語語法研究』 山東人民出版社
龔千炎 1995 『漢語的時相時制時態』 商務印書館
劉月華 2001 『实用現代漢語語法』 商務印書館
李臨定 1990 『現代漢語動詞』 中国社会科学出版社
李鉄根 1999 『現代漢語時制研究』 遼寧大学出版社
呂叔湘 1982 『中国文法要略』 商務印書館
呂翼平 2000 『漢語語法基礎』 商務印書館
範曉・張豫峰等 2003 『語法理論綱要』 上海訳文出版社
張秀 1957 「中国語動詞のアスペクトとテンスの体系」 『中国語言語学情報 2 テンスとアスペクト』 好文出版
張斌 2003 『漢語語法学』 上海教育出版社
孫偉 2005 「中国語複文の時間表現について」 『杏林大学大学院論文集』 第2号